

えんがるの

冬

辺り一面が凍てつく白銀の世界ははっきり言って「しばれ」ます



見

山彦の滝

えんがるがいとまっぷ P19 ↓ ⑧

約28メートルの高さから一直線に落ち落とされる山彦の滝。冬季には、一本の巨大な氷の柱となることから、凍った滝をライトアップして幻想的な姿を演出する「山彦の滝ナイトツアー」や、自然の中を散策しながら野生生物の観察や滝を見学する「厳冬山彦の滝観察会」が、1月から3月にかけて催されます。

このうち、ナイトツアーは、近年、テレビや新聞でも大きく取り上げられ、道内外から観光客も訪れるなど注目されています。漆黒の闇の中、その姿が色とりどりの照明で照らし出されると、そのたびに集まった観光客たちからは「オオー」という感嘆の声が。その時ばかりは全員が「しばれる」

ほどの寒さも忘れて見とれてしまうほど神秘的な姿です。

そんな時に無料で配られるホットコーヒーや甘酒もうれしいサービス。冷えきった身体をほんのりと温めてくれます。

また、見学後は、近くの温泉に入り、冷え切った身体を温めてはいかがでしょうか。

その一方で夏季には、また別な姿で私たちを楽しませてくれます。この滝は、別名「裏見の滝」とも呼ばれ、裏側からその姿を見ることが出来ます。

滝の正面から迂回して裏側に回り込めば、滝の水を通して原始の森を眺めることができ、その姿はさながら「水のカーテン」越しに眺めるよう。森林と清流が作り出した自然の空間を心行くまで満喫することが出来るでしょう。

■観察会実施期間【冬季】

1月上旬～3月中旬

■交通

山彦の滝までの約1キロメートル区間は冬季通行止

■駐車場

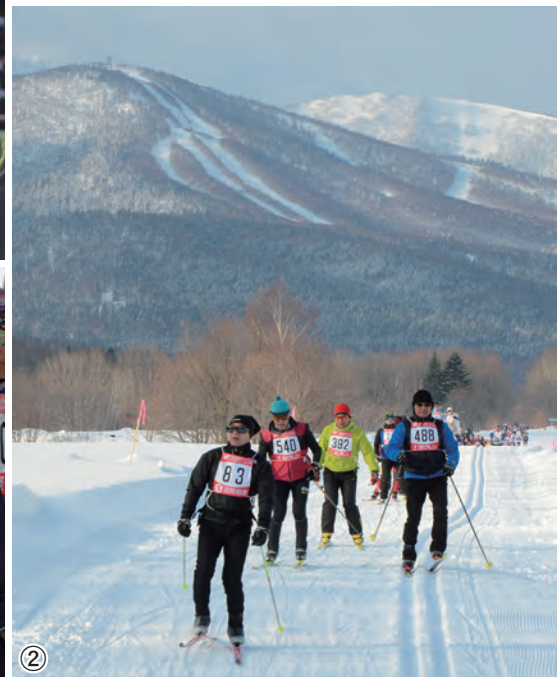
有り(冬季通行止期間を除く)

■問合せ

遠軽町丸瀬布総合支所産業課

☎0158 - 47 - 2213

ミニ知識：「真東向きの滝で御利益が深い」と言われる山彦の滝。雨宮21号の滑り止め用の砂を用いた合格祈願のお守りも、ここで祈願をし、受験前の丸瀬布中学校の生徒などに配られています。



- ①仮装部門はないものの着ぐるみで参加する人も
- ②雄大なロケーションがこの大会の一番の魅力
- ③85キロメートル先のゴールを目指す参加者たち
- ④休憩所でのスタッフとの交流も楽しみの一つ
- ⑤親子がふれあうほほ笑ましい姿も見られる

■開催日 2月最終日曜日
 ■参加料 必要
 ■HP <http://www.okxc.jp/>
 ■申込み・問合せ等
 遠軽町経済部商工観光課
 ☎0158-42-4819
 または湧別町商工観光課
 ☎01586-2-5866

また、この大会に参加する人の目的はさまざま。自分の限界に挑みベストタイムを目指す人、のんびりと雄大な自然を楽しむ人、健康づくりのために参加する人。毎

年、2月の最終日曜日には、国内最長となるクロスカントリースキーの大会「湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会」が開催されます。北大雪の山々に抱かれた町内白滝地域をスタートした後、時には森の中で野鳥の声やせせらぎの音を聞きながら、時には広大な白銀の平原を眺めながら、それぞれのゴールを目指します。

遊

湧別原野オホーツク クロスカントリースキー大会

毎年、2月の最終日曜日には、

国内最長となるクロスカントリースキーの大会「湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会」が開催されます。

北大雪の山々に抱かれた町内白滝地域をスタートした後、時には森の中で野鳥の声やせせらぎの音を聞きながら、時には広大な白銀の平原を眺めながら、それぞれのゴールを目指します。

遊

ロックバレースキー場

えんがるがいどまつぶP18 ↓ ⑩

年、湧別原野に魅せられた人たちが全国各地から集まります。子どもから大人まで技術や体力に合わせて、5〜85キロメートルまでの個人用各コースと、5人1チームで100キロメートルを滑る駅伝コースを用意していますので、親子や夫婦、仲の良い友人同士、学校や職場の仲間たちと参加してみたいかがでしょう。

初心者向けから最大斜度33度の上級者向けまでの全6コースのほか、クロスカントリースキーコース、ボブスレー広場、パークコースなどバラエティーに富んだスキー場。天気が良ければ、山頂から遠くオホーツク海や大雪山の山並みも一望できます。



■HP <http://www.rockvalley.jp/>
 ■問合せ ☎0158-42-4536

ミニ知識：「しばれる」とは、北海道の方言でものすごく寒い時に使います。地域によって異なりますが、このあたりでは氷点下15〜20度を下回ったときによく使われます。